

隆島 研吾（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 隆島研吾：加齢（老化）、性差と姿勢異常、神経内科 89（4）：383－390. 2018
- 2) 井上宣充、隆島研吾、高木峰子、島津尚子：高齢心不全入院患者と担当理学療法士の考える退院支援に対する必要性の差異に関する調査—Q分類法による分析—,理学療法科学 34（1）：61—68. 2019

4 学会等での活動

- 1) 隆島研吾：第5回日本地域理学療法学会 学会長 学会テーマ「地域理学療法学の構築に向けて—地域共生社会を支える理学療法学—」 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 2) 隆島研吾：第5回日本地域理学療法学会 特別講演「我が事・丸ごと—地域共生社会を目指して—」講師：塩崎恭久（衆議院議員、元厚生労働大臣） 司会 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 3) 隆島研吾：第5回日本地域理学療法学会 合同シンポジウム「地域包括ケアシステムにおける効果的な介護予防の役割」 シンポジスト 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 4) 井上宣充、隆島研吾、高木峰子、島津尚子：高齢心不全患者と担当理学療法士の退院支援に対する必要性の差異に関する調査～因子分析Q技法による分析～：第5回日本地域理学療法学会 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 5) 池谷充弘、隆島研吾他：地域在住脳損傷者の歩行能力・認知機能が移動能力に与える影響 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 6) 渡邊勲、隆島研吾：障害者支援機器の活用及び支援体制構築の活性化に向けた取り組み—平成28年度・平成29年度障害者総合福祉推進事業（厚生労働省国庫補助金）報告—、平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 7) 米山愛里、隆島研吾、高木峰子、島津尚子：慢性期脳卒中後遺症者における「生活」に対する価値観の多様性に関する研究～通所リハビリテーション利用者におけるADLとQOLの観点から～ 平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 8) 藤永祐人、隆島研吾：精神科長期入院患者と地域在住患者の体力に関する研究、平成30年12月8・9日 パシフィコ横浜
- 9) 隆島研吾：公益社団法人神奈川県理学療法士会新人オリエンテーション時後援会 講師「ブロックと組織運営」 平成30年4月15日 保健福祉大学
- 10) 隆島研吾：日本義肢装具学会 セミナー講師「日常生活活動で下肢装具に求められる機能」 平成30年7月28日・29日 TKPガーデンシティ横浜 横浜
- 11) 隆島研吾：第36回神奈川県理学療法士学会 シンポジウムシンポジスト「理学療法士のスキルアップ」 平成31年3月24日 パシフィコ横浜
- 12) 隆島研吾：第36回神奈川県理学療法士学会 学会長表彰審査委員 平成31年3月24日 パシフィコ横浜

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 副会長
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 表彰審査委員会担当理事
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 日本地域理学療法学会代表運営幹事
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会委員長（常設委員会）
- 5) 神奈川リハビリテーション研究会 監事
- 6) 神奈川県介護支援専門員実務研修 指導者
- 7) 川崎市障害程度区分認定審査会委員
- 8) 川崎市地域リハビリテーションコーディネーター
- 9) 川崎市福祉サービス第3者評価事業推進委員会委員
- 10) 川崎市施設整備事業選定委員会 委員
- 11) 川崎市指定管理施設評価委員会 委員
- 12) 公益財団法人日本訪問看護財団 研究倫理審査委員会委員
- 13) 三浦市地域ケア連携会議委員（学識経験者）
- 14) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会委員（学識経験者）
- 15) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会座長（学識経験者）
- 16) 三浦市自立支援協議会座長（学識経験者）

6 学内教育活動

- 1) 大学院) 保健福祉学研究科教授 M2 指導 1 名、M1 指導 1 名 修士判定主査 1 名、副査 1 名
- 2) 大学院) ヒューマンサービス論視聴覚教材による授業
- 3) 大学院) 保健医療福祉論演習教材作成および演習授業
- 4) 大学院) 地域理学療法学特論及び同演習における視聴覚教材作成
- 5) 学部) ヒューマンサービス論 I
- 6) 学部) 日常生活活動学および同演習における視聴覚教材作成
- 7) 学部) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 8) 学部) 地域理学療法学および同演習における視聴覚教材作成
- 9) 学部) 平成 30 年度オープンキャンパス個別相談

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター運営会議委員
- 2) ヒューマンサービス研究会 世話人
- 3) 総務・企画委員会委員
- 4) 学科長会議構成員
- 5) 教育研究審議会委員
- 6) COI（利益相反）審査会委員
- 7) 高大接続会議委員

8 社会貢献

- 1) 知的障害者施設綾瀬ホーム 相談員
- 2) 平成 30 年度 横須賀市リハビリテーション専門職派遣事業連絡会 講師
2018.6.16
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催 地域包括ケア推進リーダー導入研修①
講師 2018.7.8
- 4) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催 地域包括ケア推進リーダー導入研修②
講師 2018.10.13
- 5) 横須賀市市民大学講座講師「介護予防について」 2018.8.6 県立保健福祉大学
- 6) 川崎市看護協会訪問看護師養成研修 講師 2018.6.21、2018.10.25 川崎市看護協会
会館
- 7) よこはま看護専門学校 講義「リハビリテーション医学」 2018.11.5 よこはま看護
専門学校

菅原 憲一（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) K. Ikeda, Yoshihiro Kai, K. Sugawara, T. Tanioka, and M. Tomizuka. Development of a Knee Joint Assist Suit with a Velocity-Based Mechanical Safety Device: Control Method and Experiments. Proceedings of 4th SPUP International Health Congress. 2018
- 2) 甲斐 義弘, 池田 啓祐, 黒澤 千尋, 杉山 将史, 菅原 憲一, 富塚 誠義: 速度に基づくメカニカル安全装置を搭載した膝関節用アシストスーツの開発(安全装置の周波数応答解析および実験) 日本機械学会論文集 Vol.84, No.867. 2018年10月
- 3) Suzuki T, Ogahara K, Higashi T, Sugawara K. The effect of cane use on attentional demands during walking. J Mot Behav 2019; 51(1): 19-24

4 学会等での活動

- 1) Effect of neuromuscular stimulation of antagonist muscles for voluntary drive. Kenichi Sugawara¹, Shigeo Tanabe², Tomotaka Suzuki¹, and Toshio Higashi. International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2018 Congress, Dublin, Ireland 30th June-2th July, 2018
- 2) 随意的筋弛緩における大脳皮質運動野の興奮性変化と電気刺激付与が大脳皮質運動野へ与える影響の検討. 引地隼矢, 安井崇人, 岩崎理紗, 鈴木智高, 菅原憲一. 日本基礎理学療法学会学術大会.平成30年12月16日(京都市)
- 3) 運動課題の難度の違いによる学習とH反射の変化への影響. 浅井直樹・鈴木智高・菅原憲一. 日本基礎理学療法学会学術大会.平成30年12月16日(京都市)
- 4) 変速トレッドミル歩行トレーニングの有効性および機能的電気刺激を併用した介入が中枢神経系に与える効果の検討. 安井崇人, 甲斐義弘, 杉山将史, 大滝脩介, 土田将之, 引地隼也, 鈴木智高, 近藤国嗣, 菅原憲一. 日本基礎理学療法学会.平成30年12月15日(京都市)
- 5) 変速トレッドミル歩行が歩行安定性に与える影響について. 土田将之, 安井崇人, 鈴木智高, 黒澤千尋, 杉山将史, 大滝脩介, 山口蔵人, 甲斐義弘, 菅原憲一. 日本基礎理学療法学会学術大会.平成30年12月16日(京都市)
- 6) 筋振動刺激が振動刺激筋を支配する上位・下位中枢神経機構に及ぼす影響について. 岩崎理紗・引地隼矢・鈴木智高・菅原憲一. 日本基礎理学療法学会学術大会.平成30年12月16日(京都市)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 理事
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 第53回日本理学療法学会学術大会 演題査読委員
- 4) 第25回日本物理療法学会 演題査読委員

- 5) 『理学療法学』 編集委員
- 6) 『理学療法学』 論文査読

6 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生（M1；3名、M2；2名）の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生2名（D1：2名、D2：2名）の指導教員

7 学内各種委員会活動

- 1) リハビリテーション学科理学療法学専攻 専攻長
- 2) 大学院運営委員会委員 委員

8 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員
- 2) 東海大学健康科学部社会福祉学科非常勤講師 「リハビリテーション論」

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成29年度～平成31年度科学研究費助成（基盤研究C）研究代表者

米津 亮 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 米津 亮, 高橋直恵, 竹内 歩, 崎田博之, 脇田媛加, 石原みさ子, 片岡正教, 奥田邦晴. 聴覚リズム刺激を併用した歩行介入が脳性麻痺児の歩行に及ぼす即時効果, 理学療法ジャーナル 52 (6) : 581-584.2018 (査読あり)
- 2) Shimizu J, Yoshioka M, Yonetsu R, Hiroki N, Kizaki H. Development of a new grip of a long cane for visually impaired children, British Journal of Occupational Therapy (Accepted at 16th, January, 2019)

4 学会等での活動

- 1) Yonetsu R, Suzuki J, Saito A, Yamagata M, Fuchioka S. Effects of an ankle foot orthosis that can recreate dorsiflexion of the metatarsophalangeal joint on gait in a child with spastic hemiplegia cerebral palsy. the XXII ISEK Congress (2018年7月1日)
- 2) Yonetsu R, Nishizaka Y, Yoshimura M, Uemura S, Tanaka N, Fujii M, Shimozone K. The effects of figure-ground reversal visual clue on the throwing performance of individuals with cerebral palsy. the XXII ISEK Congress (2018年6月30日)
- 3) 鈴木淳也, 米津 亮, 齋藤聡佳, 成澤雅紀. 蹴り出し推進型短下肢装具の開発における足底部素材特性の評価. 第25回日本義肢装具士協会学術大会 (2018年7月21日)
- 4) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 山縣 学, 成澤雅紀. 短下肢装具を使用する地域小学校に通う脳性麻痺児の日中活動量に関する調査研究. 第25回日本義肢装具士協会学術大会 (2018年7月22日)
- 5) 成澤雅紀, 衣笠尊彦, 井上博史, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 米津 亮. Soft FRP系素材に対するリハビリテーションの視点からの力学特性評価. 第37回無機高分子研究会 (2018年11月8日)
- 6) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 山縣 学, 淵岡 聡. 中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具の装着効果-痙直型片麻痺児1症例の歩行中における麻痺側上肢連合反応の消失メカニズム. 第34回日本義肢装具学会学術大会(2018年11月11日)
- 7) 衣笠尊彦, 成澤雅紀, 井上博史, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 米津 亮. 曲げ戻り試験によるFRP系素材の力学応答性の評価. 日本鉄鋼協会・日本金属学会関西支部鉄鋼プロセス研究会・材料化学研究会平成30年度第2回合同研究会 (2018年12月18日)
- 8) 吉村 望希, 上村 柊, 下藺賢吾, 田中夏央, 西坂陽平, 藤井美希, 米津 亮. 脳性麻痺児者の上肢パフォーマンスが発揮されやすい視覚情報に関する探索的研究. 第5回日本小児理学療法学会学術大会 (2018年12月22日)
- 9) 前川美和子, 淵岡 聡, 米津 亮. 歩行速度から予測した運動強度指標の妥当性について - 脳性麻痺のホームエクササイズ指導のための基礎的研究. 第5回日本小児理学療法学会学術大会 (2018年12月22日)

6 学内教育活動

- 1) 1年次必修科目「理学療法概論」における視聴覚教材の作成
- 2) 1年次必修科目「理学療法概論演習」における視聴覚教材の作成
- 3) 1年次必修科目「運動学Ⅰ」における視聴覚教材の作成
- 4) 1年次必修科目「機能障害診断学総論」における視聴覚教材の作成
- 5) 3年次必修科目「小児中枢神経系理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 6) 4年次必修科目「卒業研究」における指導（2名）
- 7) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 8) 大学院 修士論文指導（M2：1名）
- 9) 平成30年度高校生向け説明会 模擬講義講師
- 10) 平成30年度オープンキャンパス個別相談

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科入試委員 委員（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
- 2) 地域貢献研究センター研究支援部門 部門長（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

8 社会貢献

- 1) 地域に在住の高齢者の体力測定会 参加（平成30年10月27日）

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津 亮
研究課題名：蹴り出し推進型短下肢装具の開発～歩行特性を再現する加工技術の確立～
補助金名：科学技術振興機構平成30年度研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)
産学共同フェーズ シーズ育成タイプ
交付金額：3,640千円（平成30年度）
研究期間：2018年10月1日-2022年3月31日（2年半）
- 2) 研究代表者：米津 亮
研究課題名：素材特性評価に基づく蹴り出し推進型短下肢
補助金名：科学技術振興機構平成29年度研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)
産学共同フェーズ シーズ育成タイプ FS
交付金額：1,828千円（平成30年度）
研究期間：2017年10月1日-2018年9月31日（1年間）
- 3) 研究代表者：米津 亮
研究課題名：蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）
交付金額：5,600千円（平成30年度）
研究期間：2018年4月1日-2022年3月31日（4年間）
- 4) 研究分担者：米津 亮（研究代表者：清水順市）
研究課題名：児童用白杖グリップの開発と児童用白杖導入マニュアルの作成

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究期間：2018年4月1日-2021年3月31日（3年間）

5) 研究分担者：米津 亮（研究代表者：大島憲子）

研究課題名：行動・心理症状（BPSD）に対する症候対応型認知症ケア技術の開発

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究期間：2019年4月1日-2022年3月31日（3年間）

14 その他

1) 学内研修会「科学研究費申請書の作成ポイント」講師（平成30年8月6日）

2) 大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション系理学療法学専攻 非常勤講師
「発達理学療法学Ⅰ」（平成30年9月28日～平成31年2月28日）

3) 広島大学医学部保健学科理学療法学専攻 客員教授「小児機能診断学特論」「小児神経系理学療法学」（平成30年4月9日～平成31年3月31日）

4) 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科学位論文（修士論文）外部審査員（平成31年2月5日～平成31年2月13日）

内田 賢一（大学院研究科兼務）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県健康寿命日本一戦略会議 委員 2018.4.1～2019.3.31
- 2) (公社) 日本理学療法士協会組織運営協議会委員 2018.4.1～2019.3.31
- 3) (公社) 神奈川県理学療法士会 理事(学術局担当) 2018.4.1～2019.3.31
- 4) (公社) 神奈川県理学療法士会 学術大会部 部長 2018.4.1～2019.3.31
- 5) 第36回神奈川県理学療法士学会 査読委員 2018.10.1～2018.12.31
- 6) 第36回神奈川県理学療法士学会 学会長賞審査委員会委員 2019.3.24.

6 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学療法士としてのキャリア教育
- 2) 2年次必修科目「生活環境学」における地域環境調査の引率
- 3) 2年次必修科目「筋・骨格系運動療法学」における講義および視聴覚教材作成
- 4) 3年次必修科目「内部疾患系運動療法学」における講義および視聴覚教材作成
- 5) 3年次必修科目「筋・骨格系運動療法学演習」における講義および視聴覚教材作成
- 6) 3年次必修科目「理学療法管理学」における講義および視聴覚教材作成
- 7) 3年次必修科目「スポーツ理学療法学特論」における講義および視聴覚教材作成
- 8) 4年次必修科目「卒業研究」における指導(2名)
- 9) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 10) 大学院博士前期課程「運動機能障害理学療法学特論演習」における研究課題び検討指導
- 11) 大学院博士前期課程 修士論文指導(M1:1名)
- 12) 大学院保健学研究科 修士判定主査(2名)

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員
- 2) 養成施設指導要領の改訂に係る理学療法士分の担当責任者
- 3) 大学院 入試作問・採点・面接委員
- 4) 学科長 選挙管理委員会 委員

8 社会貢献

- 1) 大型店舗「よこすかモアーズシティ」へのバリアフリー構造の現状調査協力.2018.11.1～2019.3.31
- 2) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2018.4.1～2019.3.31
- 3) 自主運営健康体操教室参加者に対する運動指導 2018.4.1～2019.3.31 (横須賀)
- 4) オープンキャンパス 入試相談
- 5) 大学入試センター試験 監督者

9 講演, 放送

- 1) (公社)神奈川県理学療法士会 第3回新人教育プログラム研修会「内部障害の理学療法」 講師 2018.12.2 (横須賀)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者: 米津 亮 (分担者 内田賢一)
研究科題名: 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発
補助金名: 科学技術振興機構平成29年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージII シーズ育成タイプFS

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成A(協働研究): 健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究.
(研究代表者)

14 その他

- 1) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2018.10.1～2019.3.31.
- 2) サークル「釣り部」顧問 2018.4.1～2019.3.31
- 3) サークル「音楽サークル」顧問 2018.4.1～2019.3.31
- 4) サークル「音楽部」顧問 2018.4.1～2019.3.31

島津 尚子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 井上宜光, 隆島研吾, 高木峰子, 島津尚子. 高齢心不全入院患者と担当理学療法士の考える退院支援に対する必要性の差異に関する調査—Q分類法による分析—. 理学療法科学, 2019, 34(1), 61-68.

4 学会等での活動

- 1) 石川秀太, 衣田翔, 平野克治, 隆島研吾, 島津尚子. 緩和期消化器がん患者におけるリハビリテーションの有用性～Quality of life の観点から～. 第23回日本緩和医療学会学術大会 2018.6
- 2) 第16回日本神経理学療法学会学術大会 一般演題座長 2018.11
- 3) 第36回神奈川県理学療法士学会 一般演題座長 2019.3

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2018.4～2019.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長 2018.4～2019.3
- 3) 一般社団法人日本義肢装具学会研修委員 2018.4～2019.3
- 4) 神奈川リハビリテーション研究会幹事 2018.4～2019.3
- 5) 第17回日本神経理学療法学術大会準備委員 演題担当 2018.9～2019.3

6 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 神経筋促通特論における視聴覚教材作成
- 7) 理学療法学研究法演習 研究指導 2名
- 8) 理学療法卒業論文指導 3名
- 9) 評価学実習, 総合臨床実習 I・IIにおける現場訪問等
- 10) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー (義肢装具学・中枢神経系) 担当
- 11) 理学療法学専攻4年次担任 2018.4～2019.3
- 12) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2018.4.～2019.3
- 2) オープンキャンパス運営 2018.8.4, 8.5
- 3) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス運営 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) 公立大学法人 横浜市立大学附属病院非常勤講師 2018.4～2019.3
- 2) オープンキャンパスにおける個別進学相談
- 3) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパスにおける進学相談 2019.3
- 4) 神奈川総合高校模擬授業 2018.6

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会研修会 第一回新人教育プログラム講師「リスクマネジメント (安全管理と感染予防を含む)」2018.7, 2019.2
- 2) 県西地区リハビリテーション協議会症例検討会講師 「中枢神経疾患に対する理学療法アプローチー感覚・知覚に着目してー」 2018.9
- 3) 横浜市立大学・市立病院所属セラピストの会教育講演会講師 「臨床実習の現状と今後についてー学校側からみてー」 2019.2

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者: 米津 亮 (分担者 島津尚子)
蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B) (平成 29 年度～平成 32 年度)

鈴木 智高 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Suzuki T, Ogahara K, Higashi T, Sugawara K. The effect of cane use on attentional demands during walking. J Mot Behav 2019; 51(1): 19-24

4 学会等での活動

- 1) Effect of neuromuscular stimulation of antagonist muscles for voluntary drive. Kenichi Sugawara, Shigeo Tanabe, Tomotaka Suzuki, Toshio Higashi. International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2018 Congress, Dublin, Ireland 30th June-2th July, 2018
- 2) 岩崎理紗, 他. (2018). 筋振動刺激が振動刺激筋を支配する上位・下位中枢神経機構に及ぼす影響について, 第 23 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018.12.15.
- 3) 安井崇人, 他. (2018). 変速トレッドミル歩行トレーニングの有効性および機能的電気刺激を併用した介入が中枢神経系に与える効果の検討, 第 23 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018.12.15.
- 4) 引地隼矢, 他. (2018). 随意的筋弛緩における大脳皮質運動野の興奮性変化と電気刺激付与による影響の検討, 第 23 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018.12.15.
- 5) 浅井直樹, 他. (2018). 運動課題の難度の違いによる学習と H 反射の変化への影響, 第 23 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018.12.16.
- 6) 土田将之, 他. (2018). 変速トレッドミル歩行が歩行安定性に与える影響について, 第 23 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018.12.16.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 2018.4～2019.3

6 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害診断学. 2018.4～2018.9
- 2) 電気生理診断特論. 2018.4～2018.7
- 3) 運動学演習. 2018.4～2018.9
- 4) 動作解析学. 2018.4～2018.9
- 5) 運動機能制御学特論. 2018.6～2018.7
- 6) 卒業研究法 学生 2 名指導. 2018.4～2018.11
- 7) 運動学Ⅱ. 2018.10～2019.3
- 8) 筋・骨格系運動療法学. 2018.10～2019.3
- 9) 臨床運動学. 2018.10～2019.3
- 10) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2018.10～2019.3
- 11) 運動機能制御学特論演習. 2018.10～2019.3
- 12) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2019.1.15

- 13) 評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ. 2018.4～2019.3
- 14) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス模擬講義. 2019.3.30
- 15) 博士前期課程 院生2名副指導教員. 2018.4～2019.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会. 2018.4～2019.3
- 2) 進路支援ワーキンググループ. 2018.4～2019.3
- 3) 時間割ワーキンググループ. 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会横須賀三浦ブロック運営委員. 2018.4～2019.3
- 2) 「運動学Ⅱ」特別聴講生1名受け入れ. 2018.10～2019.3
- 3) みうら市民健康大学オープンキャンパス協力. 2018.11.4
- 4) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス. 2018.8.4-5
- 5) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス. 2019.3.30

9 講演, 放送

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会平成30年度第2回新人教育プログラム研修会講師「統計方法論」. 2018.10.14

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 鈴木智高. スマートフォンアプリを用いた歩行中の注意機能評価による効果的な転倒予防戦略. 若手研究 B. 1,300 千円. 2018.4～2019.3
- 2) 菅原憲一, 鈴木智高 (研究分担者). リズム追従運動による脳可塑性を誘導するリハビリテーションプログラムの開発. 基盤研究 C. 2,080 千円. 2018.4～2019.3
- 3) 米津亮, 鈴木智高 (研究分担者). 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発. 科学技術振興機構平成30年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) シーズ育成タイプ.

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師. 2018.4～2019.3
- 2) 医療法人徳昌会あきやま医院 非常勤職員. 2018.8～2019.3

高木 峰子 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 南條恵悟,高木峰子: 地域在住の変形性膝関節症患者における理学療法への認知度と治療の実態.技術と研究,2019,47: 49-55.
- 2) 井上 宜充,隆島 研吾,高木 峰子,島津 尚子: 高齢心不全入院患者と担当理学療法士の考える退院支援に対する必要性の差異に関する調査－Q 分類法による分析－.2019,34(1).61-68.

4 学会等での活動

- 1) 高木峰子, 山田拓実. 尿失禁治療のための干渉低周波療法が大脳皮質に与える影響について - 1 症例での予備的検討-. 第 26 回日本物理療法学会学術大会 2018.11.
- 2) 第 26 回日本物理療法学会学術大会 奨励研究演題座長.2018.11.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県理学療法士会生涯学習部員.
- 2) 日本物理療法学会理事.
- 3) 日本物理療法学会研究助成選考委員長.
- 4) 第 27 回日本物理療法学会学術局員.

6 学内教育活動

- 1) 理学療法学専攻 2 年次生担任業務.
- 2) 卒業研究にて学生 2 名担当.
- 3) 大学院博士前期課程学生指導補助 2 名.

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会.

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける個別進学相談,模擬講義.2018.8.
- 2) 第 16 回うみかぜ祭「骨盤底筋体操講座」開催.2018.11.
- 3) よこすか海辺ニュータウン体力測定会開催準備.2018.11.
- 4) 物理療法交流会報告会にて「尿失禁に対する表面干渉波療法の fNIRS を用いた脳活動の検討－尿禁制の女性を対象として－」発表.2019.3.

9 講演, 放送

- 1) 高木峰子. 神奈川県理学療法士会新人教育プログラム講演「協会組織と生涯学習システム」2018.7,2019.2.
- 2) 高木峰子. 産後リハビリテーション研究会講演「産後尿失禁に対する電気刺激のエ

ビデンスとトピックス」2018.4.

- 3) 高木峰子. Mama Care 湘南講演「産後産前を含めた女性に生じやすい尿失禁の現状と骨盤底筋トレーニング」2018.11.
- 4) 高木峰子. 東京工科大学臨床研究につなげる講演会講師「尿失禁に対する物理療法の利用」. 2019.1.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 米津 亮(分担者 高木峰子). 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発. 科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージⅡシーズ育成タイプ F S. 4,062 千円 (平成 29～32 年度)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高木峰子. 骨盤底筋の随意収縮と末梢からの電気刺激が脳皮質に与える影響－骨盤底筋の収縮が弱い地域在住高齢者を対象として－. 平成 30 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B (奨励研究) 185 千円.

14 その他

- 1) 東海大学介護福祉コース「リハビリテーション論」非常勤講師.

黒澤 千尋

2 学術論文

- 1) 甲斐義弘, 池田啓祐, 黒澤千尋, 他. 速度に基づくメカニカル安全装置を搭載した膝関節用アシストスーツの開発 (安全装置の周波数応答解析および実験), 日本機械学会論文集, 84(867), 2018. [DOI: 10.1299/transjsme.18-00314]

3 その他の著作

- 1) 寄稿: 黒澤千尋. 平成30年度身体機能測定会のご報告, よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会広報誌「うみべ」第9号, 2019.

4 学会等での活動

- 1) 成果発表: 中野壮一郎, 守屋司, 黒澤千尋, 他. 回復期病棟入院患者における睡眠障害の有無と日常生活能力向上の関係, 脳機能とリハビリテーション医学会@千葉, 8月.
- 2) 成果発表: 澤見達也, 川寄康太, 田中亨典, 鈴木実穂, 足立徹也, 黒澤千尋, 他. 中等度片麻痺者に対する底屈制動継手付短下肢装具と機能的電気刺激の併用経験, 日本リハビリテーション医学会秋季学術大会@仙台, 11月.

6 学内教育活動

- 1) 運動学演習: 講義および計測補助 (2年次前期)
- 2) 動作解析学: 計測補助 (3年次前期)
- 3) 保健医療福祉論 I 現場訪問 事前・事後指導 (2018. 7月～8月)
- 4) 解剖学実習 II 引率 (2018. 10. 9)
- 5) 機能診断学総論 (1年次後期)
- 6) 日常生活活動学演習 (2年次後期)
- 7) 機能診断学演習 (2年次後期)
- 8) 中枢神経系機能診断学 (2年次後期)
- 9) 国家試験対策ショートレクチャー (2018. 11. 26)
- 10) 卒業研究指導 (4年生2名, 3年生2名)
- 11) 臨床実習オリエンテーション (3年次)
- 12) 国家試験対策担当 (4年次)
- 13) 卒業研究 発表会準備, 論文集制作担当
- 14) 評価学実習, 総合臨床実習 I・II 現場訪問 (2018. 4月～7月, 2019年2月)
- 15) 非常勤講師および外部講師 調整担当
- 16) 平成30年度 チューター会担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 動物実験部会
- 2) オープンキャンパス業務 (準備, 当日運営)

- 3) 入試業務（推薦入試，センター試験，前期試験）
- 4) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会

8 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区社協と合同企画：高齢者運動機能測定会の開催（10/27）
- 2) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務局担当

9 講演，放送

- 1) 招待発表：第 6 回 NPO/GCM 交流フォーラム，NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構（2018. 11. 24）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津亮（分担者 黒澤千尋），蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発，日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）（研究期間 平成 29 年度～平成 32 年度）

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒澤千尋，玉垣努，米津亮，白濱勲二，高木峰子，小池友佳子．地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査，地域貢献研究センター研究助成
- 2) 内田賢一，松尾祐子，黒澤千尋．健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究 研究助成 A

小池 友佳子

4 学会等での活動

- 1) 小池友佳子, 杉澤秀博, 杉原陽子, 清水由美子: 要支援認定者の身体活動に対するヘルスリテラシー・社会的サポートの影響—健常高齢者との比較—. 日本老年社会科学会第60回大会. 東京. 2018.6.10
- 2) 澤見達也, 川寄康太, 田中亨典, 鈴木実穂, 足立徹也, 黒澤千尋, 小池友佳子: 中等度片麻痺者に対する底屈油圧制動継手付短下肢装具と機能的電気刺激の併用経験. 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 仙台. 2018.11.2
- 3) 清水由美子, 杉原陽子, 杉澤秀博, 小池友佳子: 都市部在住独居高齢者の健康に関する不安に関連する要因—非独居高齢者との比較—. 第77回日本公衆衛生学会総会. 福島. 2018.10.25
- 4) 小池友佳子, 杉澤秀博, 杉原陽子, 清水由美子: 要支援認定者の介護保険サービス利用パターンと身体活動の関連. 第77回日本公衆衛生学会総会. 福島. 2018.10.26
- 5) 杉原陽子, 杉澤秀博, 清水由美子, 小池友佳子: 地域在住高齢者の低栄養リスクに関連する心理社会的要因: 属性別にみた要因の差異. 第77回日本公衆衛生学会総会. 福島. 2018.10.26
- 6) 池田智子, 川寄康太, 呂善玉, 橋本篤, 大竹茉未, 山口崇広, 小川里穂, 足立徹也, 小池友佳子: 脳卒中片麻痺患者に対するAlterG Bionic Leg使用による立ち上がり練習の即時効果. 回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会. 幕張. 2019.2.21

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部副部長 2018.4～2019.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 2018.4～2019.3
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 第5回日本地域理学療法学会学術大会事務局長 2018.4～2019.3

6 学内教育活動

- 1) 理学療法学概論 講義 2018.6.14
- 2) 機能障害診断学総論 講義 2018.11.22
- 3) 筋・骨格機能障害診断学 講義 2018.4.12～5.24
- 4) 機能診断学演習 講義 2018.10.2～11.20
- 5) 生活環境学 科目責任者 2018.10.4～2019.1.17
- 6) 地域理学療法学 講義 2018.5.11, 5.18, 7.13
- 7) 中枢神経系疾患アプローチ特論 講義補助 2018.10.2～10.30
- 8) 内部障害運動療法学 授業補助 2018.5.22, 5.29
- 9) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2018.11.12
- 10) 評価学実習, 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等

- 11) 臨床実習指導者会議に関する運営担当
- 12) 臨床実習事前オリエンテーション 2019.1.23
- 13) 理学療法学研究法演習 研究指導 2名
- 14) 卒業研究論文指導 2名

7 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員会
- 2) 実習センター運営委員会
- 3) ヒューマンサービス論Ⅱ実行委員会
- 4) 第31回日本保健福祉学会実行委員会
- 5) 専攻内見学実習・臨床実習担当
- 6) オープンキャンパス運営 2018.8.4, 8.5
- 7) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス講義 2018.10.13

8 社会貢献

- 1) 逗子中部地域包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」監修・体操教室立ち上げ協力
- 2) 逗子中部地域包括支援センター主催地域ケア会議出席 2018.6.6, 9.3
- 3) 逗子中部地域包括支援センター主催体力測定会運営 2018.10.9, 11.20, 2019.2.27
- 4) よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会共催 高齢者運動機能測定会運営 2018.10.26
- 5) 社会福祉法人聖テレジア会鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院非常勤 2018.4～2019.3

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平成29年度科学研究費補助事業 若手研究B「要支援高齢者における運動習慣の促進・阻害要因の量的・質的分析」(平成29年～平成31年:3,120千円) 研究代表者

11 学内研究助成金の受託

- 1) 地域貢献研究センター研究助成 「体操をツールとした住民主体の通いの場づくりが地域課題解決に寄与するか」(平成30年度:339千円) 研究代表者
- 2) 地域貢献研究センター研究助成 「地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査」(平成30年度:316千円) 研究代表者:黒澤千尋(分担者:小池友佳子)

田中 繁治

2 学術論文

- 1) Amano T, Tanaka S, Ito H, Morikawa S, Uchida S (2018). Quantifying walking ability in Japanese patients with knee osteoarthritis: standard values derived from a multicenter study. *Journal of Orthopaedic Science*. 23, 6, 1027-1031.
- 2) 井上優, 原田和宏, 田中繁治, 伊藤秀幸, 平上二九三 (2018) .タイにおける脳卒中リハビリテーションの視察報告. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要. 19, 41-45.
- 3) 藤本貴大, 田中繁治 (2019) .寝たきり男性誤嚥性肺炎患者における起き上がり動作の自立度別にみた体幹筋の差異－CT画像を用いた量的・質的差異－.ヘルスプロモーション理学療法研究. in press.
- 4) 田中亮, 天野徹哉, 井上優, 田中繁治 (2019) .理学療法に関するガイドライン update 2: 膝関節疾患. PT ジャーナル. in press.
- 5) 田中繁治, 井上優, 原田和宏, 伊藤秀幸 (2019) .タイ王国における高齢者を取り巻く理学療法の現状とその教育について－バンコク市内 3 施設の視察から－.理学療法科学. in press.
- 6) Tanaka S, Tamari K, Amano T, Uchida S, Robbins MS, Miura Y (2019). Do sociodemographic factors relate to walking ability in individuals who underwent total knee arthroplasty. *Journal of Geriatric Physical Therapy*. in press.

3 その他の著作

- 1) 株式会社メディカルエージェンシーが運営するウェブサイト POST に留学体験記を寄稿 2019.1.23

4 学会等での活動

- 1) 天野徹哉, 伊藤秀幸, 田中繁治, 森川真也, 内田茂博: 人工膝関節置換術後の歩行獲得に必要な膝関節筋力はどれくらいか?－多施設共同研究による標準値の作成－. 第 22 回静岡県理学療法士学会. 静岡. 2018.6.24
- 2) Tanaka S, Amano T, Uchida S, Ito H, Morikawa S, Tanaka R, Inoue Y, Miura Y: A clinical prediction rule for decline quality of life in patients who underwent total knee arthroplasty. Asian Confederation for Physical Therapy Congress 2018. Philippines. 2018.11.24
- 3) 天野徹哉, 田中繁治, 森川真也, 伊藤秀幸, 内田茂博: 人工膝関節全置換術後早期の膝関節屈曲角度の良不良を判別する臨床予測式の抽出. 第 6 回日本運動器理学療法学会学術大会. 2018.12.14
- 4) 森川真也, 谷口千明, 天野徹哉, 内田茂博, 伊藤秀幸, 田中繁治: 人工膝単顆関節置換術早期の歩行自立日数を判別する臨床予測式の抽出. 第 6 回日本運動器理学療法学会学術大会. 2018.12.14

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部部員 2018.11～2020.3
- 2) 内閣府 国際アジア健康構想協議会 メンバー 通年

6 学内教育活動

- 1) 理学療法概論 講義 2018.5.10～2018.6.7
- 2) 保健医療福祉論 講義補助 2018.7.31
- 3) 地域理学療法学演習 講義補助 2018.10.26
- 4) 解剖学実習Ⅱ 引率 2018.10.27
- 5) 臨床実習事前オリエンテーション 2018.11.27
- 6) 機能障害診断学総論 講義 2018.11.29～2018.12.6
- 7) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2018.12.3
- 8) ヒューマンサービス総合演習 講義補助 2019.1.8
- 9) チューター会 チューター 通年
- 10) 臨床実習指導者会議に関する運営担当 通年
- 11) 理学療法学研究法演習 研究指導 2名

7 学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会 通年
- 2) オープンキャンパス運営 通年
- 3) リハビリテーション学科にミニオープンキャンパス運営 通年

8 社会貢献

- 1) 内閣府および日本理学療法士協会共催 第2回アジア理学療法フォーラム 言語ボランティアリーダー 2018.12
- 2) 文部科学省官民協働留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN トビタテ社会人会メンバー 通年
- 3) 神奈川県理学療法士会主催 新人オリエンテーション 当日運営 2018.4.15
- 4) 神奈川県理学療法士会主催研修会 当日運営 2018.12.1
- 5) 専門学校川崎リハビリテーション学院同窓会理事 通年
- 6) 理学療法診断学教室を主宰

9 講演，放送

- 1) 愛媛県理学療法士会主催理学療法士講習会（応用編）における講師 2018.8.11

11 学内研究助成金の受託

- 1) 田中繁治. 変形性膝関節症患者における TKA 術後の QOL を予測する Clinical Prediction Rule の検討. 平成 30 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B（奨励研究） 交付金額 629 千円 研究期間 2018.4～2019.3
- 2) 田中繁治. タイ国在留邦人の身体的健康度および理学療法のニーズと提供側におけ

る問題点の調査. 平成 30 年度神奈川県立保健福祉大学保健福祉大学学長推薦研究費
交付金額 499 千円 研究期間 2018.7～2019.3

14 その他

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員